

はばたけ

第79号

2009年1月1日発行
栃木障害者の自立をめざす会
会長 小島 幸子
事務局：〒328-0003
栃木市大光寺町 347-2
TEL 0282-29-6111

私たちは障害者が生まれた地域で生き生きと働き生活していける村作りをめざします。

新年のあいさつ

栃木障害者の自立をめざす会
会長 小島 幸子

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年度も、物心両面大変にお世話になりました。今年もご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年12月に恒例のクリスマス会がなすびの里で行われました。これは、栃木市社会福祉協議会の補助金をいただいて毎年実施しています。なすびの里の仲間だけでなく、栃木特別支援学校や栃木市内の特別支援学級の生徒と保護者も参加いただき、ボランティアの方も入れて総勢75名で盛り上がりました。私は、開会の時と閉会の時に挨拶しましたが、開会の時よりもうにこやかに楽しそうにしている仲間の笑顔を見て、とてもうれしくなりました。

同じ12月には、ふるさとをくださいという映画の上映会を行いました。法人、保護者会、自立をめざす会の三者による共同の取り組みでした。当日は、あいにくの冷たい雨でしたが、多くの方が文化会館に足を運んでくださり大変ありがたく思いました。映画では、障害者を差別、侮辱する場面があり当事者の私としては、胸が締め付けられる思いでした。しかし、いくつもの困難を経て地域で受け容れられて行くというシナリオで、「私も勇気をもって、困難に立ち向かおう、理解してくれる人は必ずいるはずだ」と障害者運動に対する思いを新たにしました。

さて、私事ですがいよいよわが子が特別支援学校を卒業します。卒業を間近にしていろいろと考えることも多くなりました。実は、大変意外なそして嬉しい出来事がありました。一般就労をめざすクラスの1年生が、わが子を「良太先輩。。。」と呼んでいるのです。先生の話によると、言葉も話せない重い自閉症の良太を見

てはじめは引いていたがすぐに慣れたそうです。高校生の中の先輩後輩と呼び合うのは普通のことでしょうが、私は、わが子を先輩とよんでくれる人がいることに驚き感動し、同時に子どもは親のいないところで人様のところでどんどん成長しているのだ。親のマイナスの思い込みは改めなくてはとも思いました。

結びに、私は就学前の障害児をもったお母さん方の集まりに呼んでもらっています。わが子がこれからどんな成長をするか不安で不安でどうしようもない時期です。私も通ってきた道です。とても人事に思えません。そしていろいろな人から支えてもらい生きてきました。受けた恩を返す時です。私に出来ることをアドバイスしています。先日も集まりがありました。15人ほどのお母さんの中で第2子や第3子がお腹にいることがわかりました。大変なことも多いだろうこのお母さんたちの子育てを地域全体で支えていきたいと心の中で思いました。

年末に表に出された障害者自立支援法の見直し案・・・私たちだけでなく後に続く人たちも安心してこの国で暮らせるように、しっかりとしたしくみを作らなければなりません。障害者だけでなく、介護医療なども含めた社会保障の見直しが見務であると思います。見切り発車で法案を通し、施行してすぐの見直し見直しで障害者自立支援法の理念も見え隠れしているのではないのでしょうか。厚労省の社会保障審議会で、現場の実態がわかる方はどれほどいるのだろうか・・・私は、そう思います。

今年も、障害者が少しでもこの栃木でいきいきと暮らしていけるように役員一同心を合わせて頑張ります。皆様にとってこの新年が素晴らしい年でありますように祈念いたしまして私のあいさつといたします。

妙唱寺大黒天

1月18日(土)~19日(日)

お手伝いいただける方は現地に来て下さい。

1年で最も寒い時期・・・でもこれに参加しないと何となく新年が明けられないような気がして・・・という会員がいるくらい定着している妙唱寺大黒天が本年も開催されます。

15年以上も大活躍してきた名物の大釜がドック入りしているため今回は寸胴鍋での提供です。お手伝いして下さる方はもちろん、食べに来て下さる方も大歓迎です!!!

クリスマス会2008

川俣 禎康

12月7日日曜日に、毎年恒例の「クリスマス会2008」をなすびの里で行いました。毎年、第2週の日曜日に行っていましたが、今年は「きょうされん30周年の記念映画会」を行ったため、1週早めに行いました。

今回の「クリスマス会2008」は、参加者が例年より少なめでしたが、賑やかさは変わりませんでした。今回の目玉は、「ピンゴ大会」で商品だったのは、クリスマスの置物と自立訓練の方で作ったクルミでした。後は、同じようにウクレレ・チェロなどの演奏と、ケーキコンテストなどを行いました。

大盛況に終わりました。お手伝いの方もありがとうございました。



栃木で「ふるさとをください」上映しました

12月14日(日)栃木文化会館・小ホールにて、きょうされん30周年記念映画「ふるさとをください」の上映会を行いました。

今回の上映会は、半年前から施設と保護者会、自立の会を中心に実行委員会を組織し、ポスターやチラシの配布をしたり、幅広く関係機関やマスコミ・知人に声をかけるなどして宣伝活動を行ってきました。当日は年末の忙しい中にもかかわらず、約300名の方に観ていただくことが出来ました。会場ではゆうの家の自主製品や映画のグッズも販売しました。

映画は、障がい者の置かれている厳しい現実を描きながらも、すぐれた脚本・演技によって、笑ったり、泣いたり、そして最後はしあわせな気持ちになれるという感動作でした。見終えた後しばらくは涙が止まらなかったという保護者や、

また明日からがんばろう！という元気をもらったと語る職員もいました。また、多くの方がアンケートに記入していただき、「身につまされた映画でした」「とてもよい映画で、人間らしさを取り戻したような気がします」「この映画をもっと広めてほしい」などの感想が寄せられました。

今回は地域の多くの方にこの映画を観ていただいたことによって、障がい者問題の現状や、施設としての役割などを知っていただいたり、考えていただく機会になったことに大きな意味があると思います。今後も地域で上映会の機会を作って、さらに多くの方々に見ていただけたらと思います。 (本間英樹)

夏・冬物品販売について

毎年行われている販売活動、昨年より利益の全額をなすびの里の利用者に還元するという明確な目標のもと精力的に取り組んでいます。会員の皆様には、夏の実績報告をする前に冬のカレンダー等の購入依頼をしてしまいました。遅くなりましたが夏物販の報告と冬物販の経過報告をいたします。大変申し訳ありませんでした。

1) 施設利用者 2) 保護者 3) 職員 4) 自立の会の4者で協議し、目標売上金を60万円と設定しました。

結果は	総売上金	560,552円	
	純利益	99,137円	
	利用者一人当たり	1,730円	となりました。残念ながら目標額には及びませんでした。昨年度実績比107%でした。

さて、冬物販については夏の勢いのまま頑張ろうと4者での協議の結果120万円の売り上げ目標額を設定しました。ほぼ販売活動は終了しましたが、最終的な金額がまだ確定していません。100万円に到達したかどうか??というところ。詳細については次号のはばたけにて報告します。

尚、ゆうの家事業所で製造している、パン類・うどん類・ふきん等の縫製品類・イチゴについてはいつでもご購入いただけますので引き続きご協力をお願いいたします。